

奈良

ちゅうなんわ

旅 時 間

CHUNANWA TABI JIKAN

癒し & パワーチャージ

奈良中南和の自然と運氣めぐりで

運氣めぐり

談山神社で縁結び

古い町並みめぐり

江戸時代へタイムスリップ!

懐かしの町並みを散策

歴史めぐり

伝説とお寺めぐり / 様々な形の古墳探索

癒しスポットめぐり

四季折々の花々と雄大な絶景スポット

奈良中南和観光パンフレット

photo: 吉水神社

千年の歴史と文化、大自然を満喫する。 「ちゅうなんわ」の旅時間。

ゆったりとした季節の移り変わりに寄り添うように、時間を重ねていく——。

千年の時の壁を感じさせないかのように、歴史、文化、自然が当時の面影そのままに息づいている、ここ「ちゅうなんわ」はそんな地域です。

「ちゅうなんわ」、中南和とは奈良県の中南部地域の総称です。

世界的にも著名な神社仏閣をはじめ、江戸時代の風情が残る町並み、雄大な自然、そして四季折々の美しい風景が訪れる人々を癒してくれています。

悠久の歴史と豊かな文化と雄大な自然溢れる地「ちゅうなんわ」。

みなさんがこの地に立つ時、きっと心に染みる「旅時間」を実感される事でしょう。

CONTENTS

運氣めぐり	04
歴史めぐり	08
古い町並みめぐり	14
絶景スポットめぐり	17
癒しスポットめぐり	18



photo : 南朝妙法殿

知る人ぞ知る!? スポットで、 運氣がぐんぐん UP↑パワー UP↑

中南和には、神秘的なパワーに満ちたスポットがいっぱい！
「恋愛運」「金運」「仕事運」などなど。どこに行こうか迷っちゃう。



桜井市 たんざんじんじゃ

談山神社 ①

御祭神である中臣鎌足(後の藤原鎌足)と中大兄皇子(後の天智天皇)が山中で「大化改新」の相談を行った場所。優美な朱色の十三重塔をはじめ、15棟もの重要文化財が建ち並びます。拝殿下の鳥居をくぐると「恋の道」と呼ばれる参道があり東殿が姿を現します。鎌足の妻であり、情熱的な恋の歌を残した歌人でもある鏡女王(かがみのおおきみ)が祀られており、女性として幸せな余生を送ったことからいつしか「恋神社」と呼ばれるようになりました。また、撫でながら願うと恋が叶うという「むすびの岩座(いわくら)」があり、全国から恋愛成就を願う女性たちが訪れます。

住 桜井市多武峰 319
TEL 0744-49-0001



【東殿】(重要文化財) 縁結びの社として崇拝されている



【むすびの岩座(いわくら)】 岩を撫でながら恋祈願をしてみよう



(右)【神廟拝所】(重要文化財)御祭神の「藤原鎌足像」が祀られている (左)【十三重塔】(重要文化財)日本唯一の木造十三重塔

はせでら

長谷寺 ②



【十一面観世音菩薩立像】(重要文化財) 身丈約10m 【本堂】(国宝)1650年(慶安3年)に徳川家光の寄進により建立。2004年(平成16年)に国宝に指定される

真言宗豊山派の総本山として、また西国三十三所第八番札所として人々の信仰を集めています。美人祈願でも有名で、一つの伝説が残されています。中国は唐時代、馬頭夫人(めずぶにん)と呼ばれ、面長な顔立ちを悩んでいた心優しい皇妃がいました。ある時、長谷寺の靈験あらたかな噂を聞きつけ、長谷観音に祈願したところ絶世の美女に変身したそうです。また、感謝した妃が御礼として牡丹を献上。その牡丹が今も絶えることなく咲き誇っていることから「花の御寺(みでら)」としても親しまれています。 住 桜井市初瀬731-1 TEL 0744-47-7001



田原本町 かがみつくりにますあまてるみたまじんじゃ

鏡作坐天照御魂神社 ③



【本殿】三神を祀り、「天照照彦火明命」(中座)、「石凝姥命」(右座)、「天糖戸命」(左座)が祀られている

三種の神器の鏡を作った神「石凝姥命(いしこりどめのみこと)」、その父「天糖戸命(あめのぬかどのみこと)」、そして後に崇神天皇の命により石凝姥命の子孫が試鑄した神鏡を「天照照彦火明命(あまてるくにてるひこほあかりのみこと)」として三神を祀っています。古くから鏡作りの子孫達がこの地で製作に励みました。古来から鏡に由縁があるとして、鏡業界や美容業界の方々も参拝に訪れ、鏡の神様というところから美人祈願として知られるようになりました。

住 田原本町八尾816 TEL 0744-32-2965



【鏡池】江戸時代、鏡職人が鏡を洗い清めたともいう



御所市 かつらぎひとことぬしじんじゃ

葛城一言主神社 ④

一言主大神と幼武尊(わかたけのみこと・後の雄略天皇)を御祭神とし、願い事を一言で願えば叶えられる「一言(いちごん)さん」の神社として親しまれています。境内には樹齢約1200年の大イチョウの御神木があり、「乳銀杏」「宿り木」とも呼ばれています。秋になると美しく色鮮やかな黄葉をまとう御神木の姿や、イチョウの葉で彩られた境内に心が癒されます。

住 御所市森脇432
TEL 0745-66-0178



【本殿】本殿の両脇には「願」の焼印を押された絵馬があり、願いが込められている



【乳銀杏】子宝成就・安産の御利益がある

梶原市 かしはらじんぐう
梶原神宮 ⑤



【大給馬】畳14枚分の大きさ。毎年12月に掛け替えられる

初代天皇である神武天皇が即位された梶原宮の宮址に、明治23年に創建されました。本殿は京都御所の賢所を移築したもので、美しい白砂利の参道や、欽傍山を背景とした社殿の姿は参拝者の心を清めてくれます。御祭神である神武天皇が、日向国から大和の地まで米作を伝えながら東征され、途中幾多の艱難辛苦を乗り越え即位されたという強運の持ち主であられたことや、137歳の御長寿を全うされたということから「開運招福」「延寿」のご利益があるといわれています。



参道や境内は白砂利が敷き詰められ、神聖で荘厳な雰囲気にも包まれている。欽傍山(うねびやま・右奥)を望む景観は圧巻

① 梶原市久米町934 ② 0744-22-3271



宇陀市 やたがらすじんじや
八咫鳥神社 ⑧

神武天皇が熊野から大和へ進む際、山中で迷われた皇軍を八咫鳥が道案内をして勝利へと導きました。八咫鳥は、この神社の御祭神である建角身命(たけつみのみこと)の化身であると伝えられており、勝運を授ける神として信仰を集めたとのことです。現在は、その勝運にあやかろうとスポーツ必勝を誓う人や心願成就を願う人など「良き導き」を祈願する人々がお参りに訪れます。



【八咫鳥像】2002年サッカーワールドカップを記念して地元石材店が寄贈



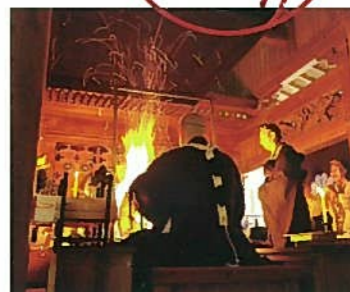
【拜殿】拜殿から続く石段の上、朱の垣の奥に本殿がある

① 宇陀市梶原高塚42

吉野町 のうてんおおかみ りゅうおういん
脳天大神 龍王院 ⑨

その昔、金峯山寺初代管長である五條覚澄(かくちょう)大僧正が頭を割られた蛇を哀れに思い経文を唱え手厚く葬りました。後にその蛇は夢に現れ「頭の守護神として祀られたし」と言葉を残しました。実はその蛇は蔵王堂の御本尊・蔵王権現(ざおうこんげん)が化身していた姿でした。覚澄大僧正は同時に「諸法神事妙行得菩提」という人々救済の御霊言を授かり、夢の言葉通り、首から上の守護神「脳天大神」を祀るようになりました。頭部の病氣・怪我の他、学業成就・入学試験等の合格祈願に遠方から訪れる人も多く、悩みごとにもご加護があります。

① 吉野町吉野山2482 ② 0746-32-4880



月例護摩の様子



「吉野の脳天さん」として人々に親しまれている

宇陀市 ひばりやませいれんじ
日張山青蓮寺 ⑥

約1200年前、右大臣・藤原豊成公の娘、中将姫によって建てられた尼寺です。中将姫は継母の讒言によって、この山に追放されました。継母は姫の殺害も命じていましたが家臣の助けもあってこの地で2年半、姫は信仰深い生活を送りました。娘の死を聞かされ悲しんでいた父・豊成でしたが、狩りに来た時、偶然に娘と奇跡的な再会を果たしました。この由来から「再会寺」と呼ばれ、逢いたい人への再会を祈願する寺として知られています。

① 宇陀市菟田野宇賀志1439 ② 0745-84-2455



【本尊 中将姫十九歳像】中将姫19歳の姿をした坐像

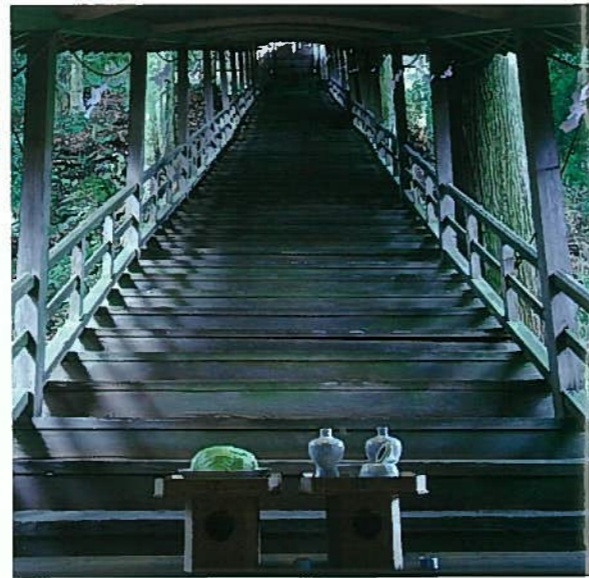
下市町 とうかわかみじんじやしもしや
丹生川上神社下社 ⑦

神武天皇が苦境の中、天神(天の神様)から天皇即位に関わる重要な教示を受けた場所とされています。大海人皇子(後の天武天皇)が壬申の乱の前ここで祈り、無事に飛鳥で天皇に即位できたことから、神恩を感謝して社を創建したといわれています。水神が祀られており、精神を安定させ深い眠りを与えてくれるという御利益があります。悩みや苦しみなど「心の荷物を降ろす場所」として、歴代天皇をはじめ、苦境にいる人々を癒し続けてきました。馬の神事が半世紀を超えて復活し、祈雨(まう)には黒馬、止雨(しう)には白馬が献上されました。

① 下市町長谷1-1 ② 0747-58-0823



平成24年に570年ぶりに神馬献上祭が行われた



75段木造階段は、現在の技術をもってしても再現が難しいといわれている



明日香村 あすかのかわかみにいますうすたきひめのみことじんじや
飛鳥川上坐宇須多伎比売命神社 ⑩

『日本書紀』に雨乞い伝説が記されている神社で、主祭神は大国主の妃・宇須多伎比売命(うすたきひめのみこと)です。本殿を持たず後方にある南淵山を御神体とし拜殿だけがあります。飛鳥川のせせらぎがすぐ近くに感じられ神秘的です。

① 明日香村稲淵698



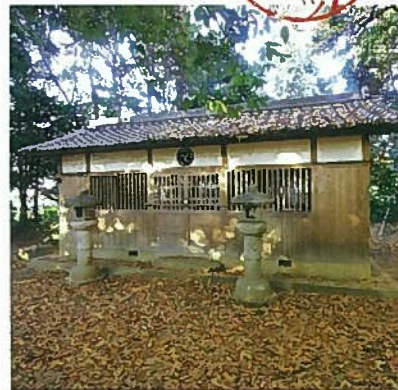
長い石段を、パワーを感じながら上ってみよう



梶原市 なさきわのもり(うねおつともじんじや)
哭澤の神社(畷尾都多本神社) ⑪

御祭神は哭澤女命(啼澤女命)(ななきわのみこと)で、妻・伊耶那美命(いざなのみこと)を亡くした夫・伊耶那岐命(いざなのみこと)の悲しみの涙から生まれた水の神とされています。拜殿の奥に空井戸があり、それが御神体です。古事記や万葉集にも記述され、古代では長寿や延命の神としても信仰を集めました。

① 梶原市木之本町114



小さな神社だが、神秘的なパワーを感じる



かわいいお守りたちをご紹介します



- a なで守り《大神神社》
- b 安産・子宝のお守り《聖林寺》
- c 夢叶うお守り《吉水神社》
- d 二人の幸せお守り《葛城一言主神社》
- e ちりめん良縁福守り《飛鳥坐神社》

いろんな形状の古墳がいっぱい!! あなたはどのカタチがお好み?

中南和にたくさんある古墳の中から、「カタチ」別に集めてみました。
まだまだ謎が多い古墳を訪れ、その時代を想像してみよう。



※時期によって立ち入りができない古墳もあります。

前方後円墳 円形と長方形が組み合わされた古墳時代を代表する形状。	双方中円墳 円形に方形が2つ付いた形状。この形の古墳はごく少数。	六角墳 被葬者は皇子クラスの者と思われる珍しい形の古墳。	長方形墳 石室が複数設けられていることが多い。	方墳 近畿地方では大王のお墓として大型の方墳が採用された時期もある。	前方後方墳 方形と長方形が組み合わされた形状。	帆立貝式古墳 前方後円墳の変形型。短い方形が組み合わされた形状。	円墳 最もポピュラーな形状で、規模は中・小型のものが多い。	八角墳 正八角形の古墳で、被葬者は天皇やその近親者と考えられている。

桜井市 はしはかこふん
箸墓古墳 12

「魏志倭人伝」の記述と科学的な年代測定から、邪馬台国の女王卑弥呼の墓ではないかとされています。宮内庁管轄の陵墓でありながら、研究者の熱意と宮内庁の英断により、近年立入調査が行われました。

住 桜井市箸中



水に浮かぶ姿が神秘的!

田原本町 くらおおつかこふん
黒田大塚古墳 13

古墳時代後期に築造。埋葬施設は未調査ですが、円筒埴輪、蓋形埴輪や鳥形の木製品が出土しました。

住 田原本町黒田



唐古・鍵考古学ミュージアムで出土品の一部が見られる!

橿原市 まるやまこふん
丸山古墳 14

全国6番目、奈良県下では最大の古墳です。初めは円墳と思われていましたが調査の結果、巨大な前方後円墳と判明しました。

住 橿原市五条野町



大きさに驚かされること間違いなし!

天理市 くしやまこふん
櫛山古墳 15

古墳時代前期の大型双方中円墳。珍しい形、大型祭壇の存在、巨大古墳に隣接しているなど、特別な印象を秘めた古墳です。

住 天理市柳本町



こんな珍しい形を間近で見ることが出来るなんて...

明日香村 まるこやまこふん
マルコ山古墳 16

古墳時代終末期に造られた古墳です。被葬者は皇族クラスの者といわれています。

住 明日香村真弓



均整のとれた形が尊厳を感じさせるね。

橿原市 うえやまこふん
植山古墳 17

二つの石室を持つ「双室墳」。推古天皇とその子・竹田皇子が埋葬されていた可能性があります。

住 橿原市五条野町



薄桃色の家形石棺がめずらしい!

桜井市 あかさかてんのうざんこふん
赤坂天王山古墳 18

崇峻天皇の墓とされてきましたが、明治に別の場所に治定。しかし、考古学者の間では今も崇峻天皇陵として有力視されています。6世紀末頃のもので一辺約50mの大型方墳であり、墳丘に三段の段築が設けられ、今もその姿をよく残しています。盗掘された跡があるものの、石室には二上山の石材で造られた家型石棺が残っており、被葬者の身分の高さを表しています。

住 桜井市倉橋



古墳ファンに大人気!! 絶対に見にいかなくっちゃ!

五條市 ごしようねこつこふん
五條猫塚古墳 19

時代を経て古墳が損傷し、「猫が寝ている姿」に見えたことからこの名がついたともいわれています。異国の技術で造られた当時最先端の副葬品も発見されており、五條文化博物館に復元した物が展示されています。

住 五條市西河内町



めずらしい副葬品が多数出土したよ!

明日香村 いしぶたいこふん
石舞台古墳 20

飛鳥の巨石文化を象徴する古墳です。石室部分が露出しており、その姿が舞台に見えることから名づけられました。飛鳥時代の有力者蘇我馬子の墓の可能性があり、国の特別史跡に指定されています。

住 明日香村鳥庄



天女が今にも舞い降りそうな雰囲気!

天理市 しもいけやまこふん
下池山古墳 21

古墳時代前期の前方後方墳。竪穴式石室の中に割竹形木棺が安置され、出土した鏡はウサギの毛・絹製の袋に入れられていたようです。

住 天理市成願寺町



副葬品から推定される被葬者は...??

桜井市 ちはらおほはかこふん
茅原大墓古墳 22

古墳時代中期に築造。前方部がかなり短めの形で、笑ったような表情をした守衛型の人物埴輪が出土しています。

住 桜井市茅原



帆立貝式の形がよく分かる古墳です!

大淀町 いしがみこふん
石神古墳 23

7世紀前半に築造された古墳で、巨大な花崗岩を積み上げた横穴式石室が開口し、緑泥片岩の石棺と木棺が納められていました。

住 大淀町大岩



丘陵の頂きにあり、見晴らしの良い所だよ!

高取町 つかみょうじんこふん
東明神古墳 24

草壁皇子(天武天皇と持統天皇の皇子)の墓ではないかと言われている終末期古墳。同時期の古墳に比べ大規模な石槨を持っています。

住 高取町佐田



立派な石槨は高貴な人のためのもの?

天理市 てんりしりつくるづかこふんてんじかん
天理市立黒塚古墳展示館 25

卑弥呼が中国の魏の国から与えられたといわれる三角縁神獣鏡が多数出土した黒塚古墳に隣接して建てられたガイダンス施設です。黒塚古墳の出土品や発掘の経緯などを展示しています。中でも、出土状況を再現した石室のレプリカは必見です。

住 天理市柳本町1118-2
TEL 0743-67-3210
営 9:00~17:00



三角縁神獣鏡などの鏡が出土した様子を再現。鏡は副葬品の中でも特に貴重なものとされている

お寺の歴史ストーリーを知ると より深い世界が広がる

お寺独特の静かな空間は、日常の喧騒を忘れさせてくれる。
そんな中で、歴史物語に思いを馳せながら興味を深めてみては。



吉野町 きんぶせんじ ごおうどう

金峯山寺 蔵王堂 26

金峯山寺の詳しい創立年代は不明。修験道の開祖、役行者(えんのぎょうじゃ)によって奈良時代に開かれたといわれています。蔵王堂はその本堂であり、檜皮葺きの大屋根は、高さ34m、四方36mにも及び、木造古建築では東大寺大仏殿に次ぐ大きさを誇ります。御本尊として日本最大、3体の秘仏金剛蔵王大権現像を祀っています。

住 吉野町吉野山2500 Tel 0746-32-8371



金峯山寺本堂(蔵王堂)

※日本最大秘仏「金剛蔵王大権現」3体(重要文化財)は仁王門大修理勧進のために平成24年より向こう10年間、毎年一定期間特別開帳されています。



向かって左尊は「弥勒菩薩」(未來世・高さ5.92m)、中尊は「釈迦如来」(過去世・高さ7.28m)、右尊は「千手観音」(現在世・高さ6.15m)の権化といわれている

金剛蔵王大権現

巷では内乱や飢饉や疫病が蔓延していた時代、役行者は千日の修行の後、衆生を救う仏の出現を祈りました。最初に現れたのは釈迦如来。しかし役行者はその姿では乱れた今の世の猛々しい人々に響かないと訴えます。次に現れたのは千手観音。観音様はさまざまに姿を変えて救ってくださるが、やはり乱世にふさわしくないといえます。次に現れた弥勒菩薩にさえ首を縦に振りません。どうか、世に満ちた悪を打ち払うような強い仏を——そう望んだとき、地が揺れ、雷鳴が轟き、岩を割って現れたのが恐ろしい忿怒の形相の蔵王権現だったのです。多くの「仏」達はインド、中国の影響を多大に受けていますが、この蔵王権現は日本独自の仏です。「権現」というのは「権(仮り)に現れる」という意味で、蔵王権現は、今の世にもふさわしい姿として現れた仮の姿であり、本来は柔和で優しい仏さまです。

葛城市 たいまでら

當麻寺 27

真言宗、浄土宗の2宗兼帯の寺。二上山の東麓に位置し、豪族當麻国見が現在の地に681年に移築したと伝えられる古刹です。白鳳時代から天平時代にかけて金堂、東西両塔、弥勒仏像、日本最古の梵鐘や石燈籠などが完成されたといわれています。中将姫ゆかりの寺としても知られ、姫が5色の蓮糸を使い一夜で織り上げたといわれる當麻曼荼羅を御本尊としています。

住 葛城市當麻1263
Tel 0745-48-2001(中之坊)



極楽浄土を表した當麻曼荼羅(中之坊蔵)



西南院より望む東西両塔(手前西塔)

當麻曼荼羅と 中将姫伝説

天平時代のころ、中将姫は石大臣藤原豊成の娘で、幼くして実母を失い、継母に育てられました。しかし継母から嫌われ、雲雀山(日張山)に捨てられてしまいました。その後、父と再会し一度は都に戻りましたが、仏の道に仕える決心をして十七歳で中将法如として當麻寺に入ります。生身の阿彌陀を拝みたいと日頃から念じていた中将法如は、ある日仏の声を聴き、曼荼羅を織る決意をします。近江、大和、河内から蓮糸を集めて蓮糸をとり、石光寺の庭に井戸を掘り、あふれ出る水に浸すと糸は五色に染まり上がりました。そしてその蓮糸で一夜にして一丈五尺(約4m四方)もの蓮糸曼荼羅(當麻曼荼羅)を織り上げたのです。中将法如が29歳の春、雲間から一条の光明とともに、阿彌陀如来を始めとする二十五菩薩が来迎され、生きたまま念願の西方極楽浄土へ向かわれたと伝えられています。

高取町 つばさかでら

壺阪寺 28

正式には南法華寺、通称壺阪寺と呼ばれ、眼病に靈験あらたかな寺院です。開創は703年(大宝3年)弁基上人といわれています。この寺院の風情はどことなく異国情緒を感じさせますが、本寺の国際支援を縁として50年来の付き合いがあるインドより招来された世界最大級の大観音石像、大釈迦如来石像等の巨大石仏が境内に安置されています。

住 高取町壺阪3
Tel 0744-52-2016



本尊 十一面千手観音菩薩像



大釈迦如来石像と境内風景

壺坂靈験記

今から300年以上昔、目の不自由な沢市は、美しい女房お里と貧しいながらも仲睦まじく暮らしていました。しかし、3年前からお里が毎夜そと家を出て行くのを沢市は怪しみ、男に会いに行くのであろうと邪推し、お里を問い詰めました。お里はそれを悲しみつつ、壺坂観音に沢市の目が治るようにと願をかけていることを打ち明けます。疑ったことを恥じた沢市は一緒に詣りに行くことにしました。しかし、妻の幸せを思うと自分などいない方がよいと思いたち、自ら谷に身を投げてしまいます。それを知ったお里も後を追って身を投げますが、二人のせつない夫婦愛の一部始終を見ていた観音様の靈験により奇跡が起こります。沢市、お里は生き返り、しかも沢市の目が見えるようになったのです。壺坂横手には、その沢市お里が身を投げた「投身の谷」と言い伝えられている谷があります。

くめでら
久米寺 29

創建は7世紀後半、聖徳太子の弟・来目皇子(くめのおうじ)とも久米仙人とも伝えられています。御本尊は薬師如来像で眼病に靈験あらたかといわれており、また境内には京都の仁和寺より移築された重要文化財の多宝塔があります。

住 橿原市久米寺502 Tel 0744-27-2470



本堂

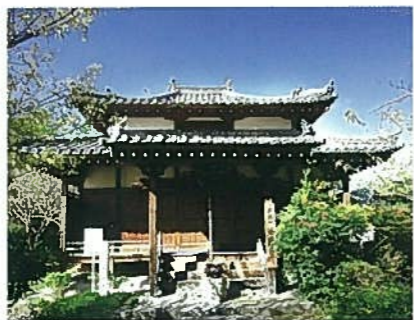
久米仙人伝説

天平年間の事、神通飛行術の修業をしている久米という名の青年がいました。厳しい修行の末、飛べるようになった久米仙人が、雲に乗り空を飛んでいると、川で洗濯していた若い娘の白い肌を覗き、はげに目を奪われ、神通力を失い墜落してしまいました。神通力を失った久米仙人でしたが、その娘を妻にして仲良く暮らして、いました。そんな頃、新都建設の話が持ち上がり、久米も人夫として呼び出されました。久米が元仙人という事は役人の耳にも届いており、役人から仙術を使つて山から材木を飛ばし運べと命じられ、そこで久米は再び修行に打ち込み、建設現場に材木を飛ばして届けるという奇跡を起こします。これを知った天皇は恩賞として久米に免田30町を与え、彼はその地に久米寺を建立したといわれています。

ほうらくじ
法楽寺 30

孝霊天皇の黒田廬戸宮(くろだいのみや)跡に聖徳太子によって開基されたといわれています。昔は大伽藍を有していましたが、後の南北朝の動乱や戦国時代の戦乱に巻き込まれ、伽藍坊舎は残らず焼失し、現在は本堂のみが残っています。

住 田原本町黒田360 Tel 0744-32-2580



本堂

桃太郎伝説

桃太郎のモデルとされている吉備津彦がこの地で生まれたことから、ここ田原本町黒田が桃太郎生誕の地といわれています。この頃瀬戸内海では百済の国の温羅(うら)という豪族が住んでいて、近くを通る船を襲うなどの悪事を働いていました。吉備津彦は天皇の命を受け、この海賊を征伐をするため本地地がある吉備の国(山陰)へ向かいます。途中、佐多八という漁師に迎えられるトウキビで作つた閉子をもらい、佐多八を道案内に海賊征伐を始めたという事です。その時、吉備津彦のお供をしたのが、犬養部(いぬやべ)といふ、狼養部(きやうべ)といふ、鳥養部(とりやべ)といふ、この姓を持つ実在の人物でした。吉備津彦の出生は田原本町黒田ですが、犬養部は現在の五條市大前、狼養部は現在の津川村猿飼に住んでいたといふ事です。

たちばなでら
橘寺 31

創建年代不詳。聖徳太子の父・用明天皇の離宮があった所で、聖徳太子誕生の地といわれています。606年(推古14年)太子が勝鬘(しょうまん)経を講じた時、ここに蓮華が降つたので寺を建てたと伝えられています。太子建立7寺のひとつ。

住 明日香村橘 Tel 0744-54-2026



本堂(太子堂)

二面石の謎

境内の一隅にひっそりと佇む善悪二つの顔が刻まれた二面石。聖徳太子自身も謎の多い人物でしたが、この二面石も多くの謎を秘めています。まず丸みのある正面に対して背面がバツパリと切つてあるかのように平面になっていて、これ一体で完結するには余りにも不自然な形でもしかしたら背あわせでもう一体二面石が存在していたのかもしれない。ただ現在も、もう一体は未発見です。もう一つは「善」の顔が大阪万博記念公園にある「太陽の塔」の顔のモデルだといふ噂です。お寺の方のお話では、事実、岡本太郎氏はこの橘寺に参拝したことがあるそうで、そういえば確かによく似ているような…?



重要文化財の多宝塔



本尊 子安地藏尊



二面石のフラットな背面



「太陽の塔」の顔のモデル?

ちようがくじ
長岳寺 32

淳和天皇の勅願により824年(天長元年)に弘法大師が開創したといわれる古刹。約1万2千坪の広大な境内には四季折々の美しい花々が咲き、毎年秋には横11m、縦3.5mの全9幅、狩野山楽筆「大地獄絵」が開帳されます。

住 天理市柳本町508 Tel 0743-66-1051



古くからのツツジの名所

あべもんじゅういん
安倍文殊院 34

京都・天橋立の切戸文殊、山形の亀岡文殊と共に日本三文殊の一つに上げられています。獅子にまたがった御本尊「文殊菩薩像」は鎌倉時代の仏師・快慶作の国宝で、高さ7m、日本最大の文殊菩薩だといわれています。645年(大化元年)の創建。

住 桜井市安倍山 Tel 0744-43-0002



獅子に乗り4人の脇侍を伴う渡海文殊(5像全てが国宝)

むろうじ
室生寺 36

奈良時代、興福寺の僧・賢環により創建。五重塔としては日本最小、高さ16mの塔を持っています。女人禁制だった高野山金剛峯寺に対して、女性の参詣が許されていたことから「女人高野」の別名があります。

住 宇陀市室生78 Tel 0745-93-2003



日本最小の五重塔

せそんじ
世尊寺 38

587年(用明2年)聖徳太子建立の古刹。吉野寺、比蘇寺、現光寺、栗天奉寺とも呼ばれており、寺名の変遷が如何にこの寺が栄枯盛衰を繰り返したかを表しています。役行者がこの寺に籠り修行したことから「行者道分道場」ともいいます。

住 大淀町比叢762 Tel 0746-32-5976



本尊 阿弥陀如来坐像

せんりゅうじ
専立寺 33

1600年(慶長5年)、本願寺第12代門主・准如が創建。高田御坊と呼ばれ、大和五ヶ所御坊の一つとして壮麗な伽藍を形成。江戸時代、領主・桑山氏はこの地を商工の町・寺内町として発展させ、文化・文政の頃には、戸数200余、付近村落の経済的中心となりました。

住 大和高田市内本町10-19 Tel 0745-52-5180



表門・太鼓樓と築地塀(大和高田市指定文化財)

せんしゅうじ
船宿寺 35

725年(神亀2年)に僧・行基が船形の大磐石の傍らに庵を建て、薬師如来を祀つたのが始まりといわれています。境内には1,000株ものツツジやサツキが連なり、裏山を借景にした池泉回遊式(ちせんかいゆうしき)庭園が有名です。

住 御所市五百家484 Tel 0745-66-0036



本堂前の庭園には四季折々の花々が咲き乱れる

こんごうじ
金剛寺 37

五條市を流れる吉野川の河畔に1173年(承安3年)、平重盛により創建され、牡丹の寺として知られています。この牡丹の起源については1822年(文政5年)当時の本常和尚が薬種として植えたといわれています。

住 五條市野原西3-2-14 Tel 0747-23-2185



本尊 薬師如来像

がんぎょうじ
願行寺 39

下市御坊とも呼ばれる浄土真宗本願寺派の寺院。蓮如上人によって創建されました。庭園が有名で、那智黒石を敷き詰め、平坦地を水面に見立て枯山水的な取り扱いをしている数少ない室町時代末期築造の庭園として知られています。

住 下市町下市2952 Tel 0747-52-2344



平庭式枯山水で、室町時代の作

ちゅうなんわ古い町並みめぐり

歴史の名残りのある町並みを カメラと一緒に歩いてみませんか？

ここで紹介する町では、昔から変わらない風景の中で今も人々が生活している。
タイムスリップした気分で、町並みを素敵に撮ってみよう！



いまいちょう 榎原市 今井町 40



戦国時代末期に一向宗今井道場の寺内町として成立。織田信長と戦うも降伏し、自治権を認められて、「大和の金は今井に七分」といわれるほど栄えた町。独自の「町掟」があり自治自衛が徹底され、消防規定が厳格で火事が少なかったことや漆喰壁が厚く防火構造であったこと、住民が近代化によって町の風紀が乱れることを嫌ったことが理由で、今も当時のままの姿を残しています。桃山文化の影響を受けた住宅もあり、町並みから当時の豪華絢爛な繁栄ぶりをうかがうことができます。

交 近鉄橿原線「八木西口駅」から南西へ徒歩約7分



町並み撮影スポット ← 撮影方向

電線類は地中に埋設されている。軒裏まで達した白漆喰塗りが美しい絶好の撮影スポット



1 「今西家」(重要文化財)1650年建築。今井町で最も古い町家 2 「河合家」(重要文化財)酒造業。現在も造り酒屋を営んでいる 3 「旧米谷家」(重要文化財)金具商・肥料商。農家風の民家

うだまつやまちく 宇陀市 宇陀松山地区 41

松山地区は秋山氏が城下に築いた集落が起源。1585年(天正13年)以降、秋山城は改修を受け、宇陀松山城となり、城下町の整備も進められました。西口関門(黒門)は、城下町の門として現在も残っている貴重なものです。宇陀松山城の破却後は、織田信長の次男・信雄(のぶかつ)が宇陀松山藩初代藩主となりました。江戸時代から昭和戦前までの町家などが並び、夏の終わりには町並みライトアップがあり、秋にはグリアを路地に敷き詰めるイベント華小路が開催されます。

交 近鉄大阪線「榎原駅」から大宇陀行バス「大宇陀」下車 北へ徒歩約5分



町並み撮影スポット ← 撮影方向



1 「旧福田医院」大正時代に建てられた洋館 2 「山邊家住宅」江戸時代後期に築かれた商家 3 城下町から商家町として栄え、今も商家の名残りの風情が漂う



ごじょうしんまちく 五條市 五條新町 42

五條から二見へと続く約900mの新町通りには、17~18世紀に建てられた古い町家が軒を連ねており、特に1607年(慶長12年)の銘がある栗山家住宅は建築年代のわかる民家では日本最古のものとして残っています。また、この地域には五條~新宮間を結ぶ「五新鉄道」の計画が明治時代からあり、工事が進められたものの戦争や経済情勢の悪化により、完成することなく中止されました。ここではその一度も列車が走らなかった「幻の五新鉄道」の高架橋跡を見ることができます。



町並み撮影スポット ← 撮影方向



1 幻の五新鉄道



新町通りの中にある一ツ橋餅店とその付近。新町通りのシンボリック的存在

とさかいどう
高取町 土佐街道 43

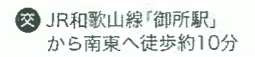
朝廷が都造りをする際の労役で四国土佐からここに召し出され、任務が終わっても帰郷できなかつた者が住み着いたのでこの名前になったといわれています。この土佐街道にはかつて500軒もの商家や町家が立ち並び、現在も二階が低く、細い格子を使った中からは外が見えるが外からは中が見えにくい、厨子(つい)二階造、連子格子(れんじごうし)の町家が残ります。



近鉄吉野線「壺阪山」駅から徒歩約5分
奈良県指定文化財の長屋門。腰板張りの部分は海鼠(なまこ)壁となっている
可並み撮影スポット ←撮影方向

ごせのまちなみ
御所の町並み 44

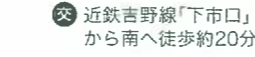
古くは桑山氏御所藩の陣屋町として栄え、碁盤の目状に綺麗に区画整理されています。江戸時代初期に形成され、家々を流れる水路もほぼ当時のままで見通しの良い町並みです。秋には霜月祭が行われています。



JR和歌山線「御所駅」から南東へ徒歩約10分
昔の商業都市の面影がある
町並み撮影スポット ←撮影方向

しもいのまちなみ
下市の町並み 45

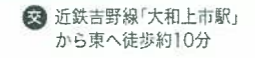
江戸時代には市場町として発展、商人達が盛んに行き来しました。当時は日本初の商業手形とされる「下市札」が発行され、大衆参りの宿場町としても栄えました。問屋橋付近には歴史風情ある町家の姿が見られます。



近鉄吉野線「下市口」から南へ徒歩約20分
問屋橋付近の町並み
町並み撮影スポット ←撮影方向

かみいちのまちなみ
吉野町 上市の町並み 46

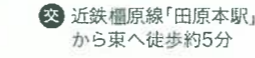
室町時代から商業地として栄え、町の起源はその昔、吉野川で林業の流通をするための集落を形成されたことが始まりです。江戸時代には伊勢街道沿いの市場町・街道町として栄えました。山林王と呼ばれた北村家の邸宅もあります。



近鉄吉野線「大和上市駅」から東へ徒歩約10分
町の起源時は「千段里(ちまたのせと)」と呼ばれた
町並み撮影スポット ←撮影方向

たわらもとじないまち
田原本町 田原本寺内町 47

古くは下ツ道の街道沿いに栄えた町で、戦国時代に平野権平長泰が町場を整備し商業を発展させ、教行寺を招き寺内町を形成しました。後、その地に浄照寺と本誓寺が置かれ陣屋町として栄えました。



近鉄橿原線「田原本駅」から東へ徒歩約5分
浄照寺の門前
町並み撮影スポット ←撮影方向

むしこまど
虫籠窓

形が虫かごに似ていることから「虫籠窓(むしこまど)」と呼ばれました。古い町家では屋根裏部屋を厨子(つい)二階として中二階に利用することが多く、そのための明かり取りとして、また風通しを良くするために設置されました。格子は木や竹に縄を巻いて芯に使い、さらに練り土を塗り、漆喰で固めています。頑丈で泥棒よけにもなり、そのデザインも横々で町並み散策の見どころでもあります。



今井町並保存整備事務所-江戸時代
川西家-江戸時代
黒川本家-江戸時代/葛屋
壺阪漢方堂薬局-江戸又は明治頃/葛屋
油長酒造-江戸時代/造り酒屋

ちゅうなんわ絶景スポットめぐり

心安らく雄大な景色の中に身をゆだねてみませんか。

豊かな自然に恵まれた中南和には素晴らしい絶景スポットがいっぱい。季節ごとで見せる違った表情、朝や夕方でもその印象を大きく変えていく。



甘樫丘から大和平野を望む <橿原市・明日香村> 48



晴れ渡った青空と広々とした山田寺跡 <桜井市> 49



幻想的な早朝の倉橋ため池 <桜井市> 53



眩しいほどに輝くイチヨウ並木 <天理市> 50



山の稜線を染めるかぎりひ <宇陀市> 54



大和平野の夜景 <葛城市> 51



夕焼けに染まる二上山 <葛城市> 52



きれいな水が滔々と流れる吉野川(芝崎の奇岩) <五條市> 55

ちゅうなんわ癒しスポットめぐり

赤、白、ピンク、薄紫——見渡す限りの花絨毯。
 ここは、心を癒してくれる場所。

澄み切った青空にパノラマのように広がる季節の花々。その中を歩いていると、まるで花たちに包み込まれているような心穏やかな気持ちにさせられる。



コスモス 藤原宮跡 <榎原市> 56 10月上旬~下旬に開花。約300万本のコスモスが咲き誇り、遠景には万葉集で有名な大和三山が望める。社大で優美な美しさが広がる



ホテイアオイ 本薬師寺跡 <榎原市> 57 8月中旬~10月初旬に開花。紫色に咲き広がる花々の景色はとても壮観



バラ おふさ観音 <榎原市> 58 (春)5月中旬~6月下旬、(秋)10月中旬~11月下旬が見頃。約3,200種のバラが華麗に咲き誇る



桜 高田千本桜 <大和高田市> 59 3月下旬~4月上旬に開花。大中公園の川の両岸に見事な美しい桜並木をつくり多くの花見客で賑わう



寒牡丹 石光寺 <葛城市> 60 11月下旬~1月初旬が見頃。真冬に咲く可憐な花



蓮 奥田の捨篠池 <大和高田市> 61 6月下旬~8月上旬開花。蓮の花が美しく夏を彩る



彼岸花 稲淵の棚田 <明日香村> 62 9月中旬~下旬が見頃。色鮮やかな彼岸花が道行く人の目を楽しませる



桜 吉野山 <吉野町> 63 4月上旬~下旬開花。約3万本の山桜が吉野山を華やかに彩る



ツツジ 葛城山 <御所市> 64 5月中旬~下旬が見頃。ロープウェイで登ると鮮やかな花の絨毯が視界いっぱいになり「一目百万本」とも言われている

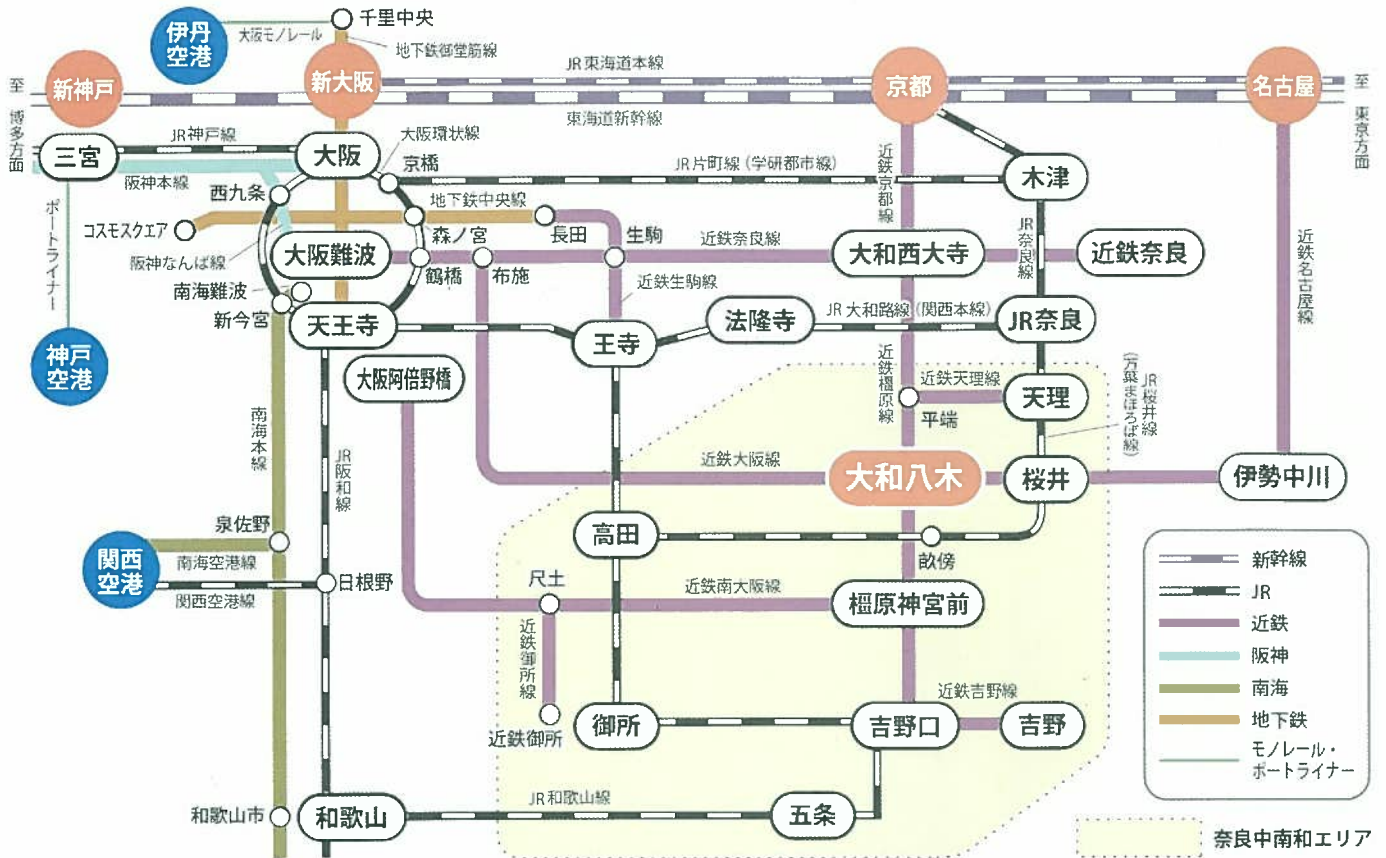


梨の花 大阿太高原 <大淀町> 65 4月下旬~5月上旬開花。白く清楚な花で大淀町の町花



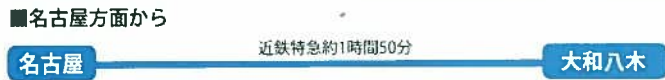
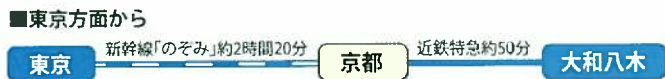
梅 広橋梅林 <下市町> 66 2月下旬~3月下旬が見頃。約5,000本もの梅を植栽

ちゅうなんわ ACCESS MAP

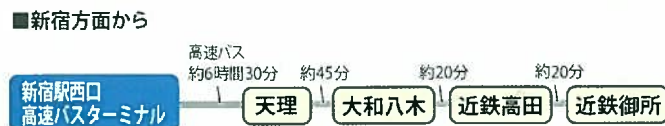


他府県からのアクセス

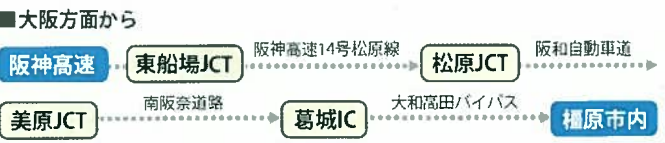
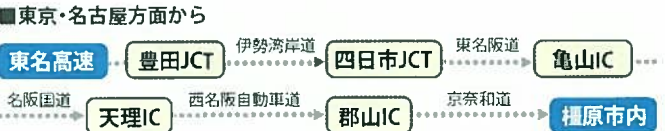
電車でのアクセス



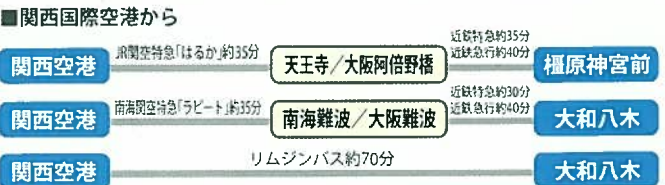
高速バスでのアクセス



車でアクセス



空港からのアクセス



<p>かしはらナビプラザ KASHIHARA NAVI PLAZA</p> <p>大和高田市役所 ☎635-8511</p> <p>天理市役所 ☎632-8555</p> <p>橿原市役所 ☎634-8586</p> <p>桜井市役所 ☎633-8585</p> <p>五條市役所 ☎637-8501</p> <p>御所市役所 ☎639-2298</p>	<p>橿原市観光交流センター (かしはらナビプラザ) ☎634-0804 橿原市内膳町1丁目6-8</p> <p>大和高田市大中100-1 tel: 0745-22-1101</p> <p>天理市川原城町605 tel: 0743-63-1001</p> <p>橿原市八木町1丁目1-18 tel: 0744-22-4001</p> <p>桜井市薬殿432-1 tel: 0744-42-9111</p> <p>五條市本町1丁目1-1 tel: 0747-22-4001</p> <p>御所市1-3 tel: 0745-62-3001</p>
--	---

<p>葛城市役所 ☎639-2197</p> <p>宇陀市役所 ☎633-0292</p> <p>田原本町役場 ☎636-0392</p> <p>高取町役場 ☎635-0154</p> <p>明日香村役場 ☎634-0111</p> <p>吉野町役場 ☎639-3192</p> <p>大淀町役場 ☎638-8501</p> <p>下市町役場 ☎638-8510</p>	<p>葛城市長尾85</p> <p>宇陀市榛原下井足17-3</p> <p>磯城郡田原本町890-1</p> <p>高市郡高取町観覚寺990-1</p> <p>高市郡明日香村岡55</p> <p>吉野郡吉野町上市80-1</p> <p>吉野郡大淀町絵垣本2090</p> <p>吉野郡下市町下市1960</p>	<p>tel: 0745-48-2811</p> <p>tel: 0745-82-8000</p> <p>tel: 0744-32-2901</p> <p>tel: 0744-52-3334</p> <p>tel: 0744-54-2001</p> <p>tel: 0746-32-3081</p> <p>tel: 0747-52-5501</p> <p>tel: 0747-52-0001</p>
---	---	---